

テーマ：『 環境問題に主体的に取り組む児童の育成 』

伊勢原市立 成瀬小学校

Tel. 0463-95-2360

担当者： 下山 知宏



■実践内容:

児童が主体的に問題解決する姿勢を育成するために、興味・関心を喚起する身近な教材を活用する。

- 亀池 亀と錦鯉を飼育する池があり、児童の委員会を中心に世話する活動を続け、また、低学年も休み時間になると、中で生息する動物の行動を眺めている。この池を環境について考える身近な出発点の一つとし、生命と環境のつながりを意識させている。
- 岩石園 自分たちの住む土地について関心を深めるために、校内の一角にある岩石園を利用し、神奈川県 of 岩石について学習している。また6年生の理科「地層」の学習にも導入として利用し、学習の一助としている。
- 米作り 5年生の社会「農業」の学習を深めるために、地域の方に田を借りて、指導を受けながら、田植え、草取り、稲刈りなどを実施している。実体験を通して、社会の学習のみならず、昔の農家の苦勞、食べ物を大切にすることなどの情操教育にも役立っている。
- うさぎの飼育 4年生が総合的な学習の時間の中で、うさぎの飼育に取り組み、積極的に活動してきた。うさぎ小屋づくりも、先生や地域の方の援助のもとに、自分たちでできることに取り組んできた。

■実践成果:

身近な学習素材を整備し、学習単元の導入などに利用することで、実感を伴って学習に取り組むことができた。このことによって、各学年の学習や環境問題に主体的に取り組む姿勢が醸成され、普段の生活を見直したり、改善したりする資質が育成された。

■実践ポイント:

日頃から接しているような身近な環境を整備し、それを利用して学習効果をあげること。